

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目4番33号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	平成26年2月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆様が、安心してゆったりと穏やかに過ごしていただける様に家庭的な雰囲気の中で、生活が出来るような環境を整えています。また日当たりも良く明るい雰囲気の中で、入居者様と職員は楽しく過ごしています。ベランダには、小さいですが「いこいの野菜畑」があり、苗の植え付けや、収穫、雑草とりなど一緒になって楽しんでいます。野菜の収穫以外にも、外でお茶を飲んだりと周りの景色を楽しみながら。職員も一緒になって過ごしています。それぞれの居室には手作りの表札、広間には手作りのカレンダーなど、施設ではなく本当に家の中にあるような雰囲気を持ったグループホームになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念のひとつに「ゆっくりと楽しく過ごす」を掲げ、利用者・家族・職員が、仲良く一つの家族として日々の生活を過ごしている。
- ・運営推進会議では、地域住民や家族の参加があり、充実した会議の開催となっている。
- ・町内会に加入し、地域の行事に参加したり、近所の方から野菜を頂いたり、地域との交流ができています。
- ・職員間のコミュニケーションや情報共有がなされ、スピーディーな対応ができています。
- ・共用空間はたたみスペースやソファ、椅子などが置かれ自然に過ごせる環境である。
- ・家族とのコミュニケーションや医療機関との医療連携体制が取られており、ターミナルケアまで行ったケースもあり、利用者や家族が安心して生活できる施設となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	お互い共通した意識をもち、事業所理念に基づき行動し実践している。	玄関や事務所に理念を掲示し、朝礼時に唱和している。パンフレットやホーム便りに掲載し、常に理念について話し合いを行い、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事や夏祭りに参加し、町内会の会合や話し合いに出席している	開設当時から町内会に加入し、地域の夏祭りや草払い等にも参加している。ボランティアの演奏や子供が遊びに来たり、近隣住民からの野菜の差し入れ等、日頃から地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の会合や話し合いに出席し「高齢者介護の話」や「認知症」「福祉サービス」の話を行っている	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中での意見など、外部からの声を真摯に受け止め、サービスの向上に繋がるように活かしている	会議を避難訓練の後に開催するなど、参加しやすいように工夫している。外部評価の結果報告や施設の活動報告、地域行事参加時の協力体制等、様々な話し合いがなされ、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	鹿児島市からの案内がある時以外にも、定期的に担当者との話をしたりと、協力関係を築けるように努力している	市担当者とはホーム便りの送付や相談に出向き、事業所の実情、利用者の状況を伝え、アドバイスを受けてたり情報を得ている。市主催の研修会へも積極的に参加し、担当者と連携を取りながら、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	禁止の対象になっている具体的な行為を全員が理解し取り組んでいる。常日頃から、玄関は開放し自由に往来が出来る様にしている	身体拘束廃止委員会において、指針やマニュアルの見直しも含め定期的に話し合いを行っている。玄関に身体拘束排除宣言を掲示し、日中は玄関の施錠をしていない。言葉の拘束も含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や学習会などに参加している。また職員全体で虐待に対して常に注意を払い、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度が理解できるように学習し話し合いを持ち、いつでも活用できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者様、ご家族様に十分な説明を行い、理解納得を頂いた上で契約を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望を表せる機会がある</p>	<p>面会時に職員が声をかけて本人が写っている写真を見ながら、日頃の様子を話し、本人や家族の思いを聞いている。投函箱に声を寄せて貰ったりして、意見・要望を聞きながら運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている</p>	<p>職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。勤務時間の提案があり、勤務体制が見直しされている。職員の意見を聞きながら運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居した初期の段階は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をするように努めている	友人や知人に手紙を出す手伝いや電話で連絡を取ったり、いとこ等との面会、行きつけの美容室等の支援を行っている。家族の協力を得ながら墓参りや知人宅訪問等、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、こちらから連絡したりと、退所後の支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している	入居時のアセスメントをもとに、日常会話や表情・しぐさに注意して思いを把握している。リビングや居室で利用者の意向等を職員は声かけして聞いている。意思疎通が困難な場合は、家族や職員で話し合いながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる	本人・家族の希望を聞いて、医師・職員等で話し合い、申し送りノートを活用して、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、状況の変化によりその都度、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期的な往診で連携が図られている。専門医や他科受診については家族の協力を得ている。職員も対応している。かかりつけ医との連携を取り合って、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している</p>	<p>事業所としての指針やマニュアルがあり、利用開始時に家族と話し合いを行い、同意をもらっている。家族の協力をもらいながら重度化や終末期の方針の共有を図っている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。	年2回、避難訓練を消防署の指導のもと、地域住民の協力をもらいながら定期的に昼夜間想定での訓練を行っている。抜き打ちでの訓練も実施している。運営推進会議の前に避難訓練を計画することもある。地域の協力体制もある。災害用の食料も備蓄している。通報システムやプリンクラーも設置されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている	マニュアルがあり、勉強会を通して、人格の尊重やプライバシーを損ねないケアを行っている。トイレ誘導や入浴・着替え等、プライドや誇りを傷つけないような言葉かけやさりげない対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思は尊重している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来るように、乳液や化粧水など準備し、ご自分ですることが困難な方には、職員と一緒に支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている	利用者の一人ひとりの好みや力を活かして、皮むきや盛り付け・配膳・片付け等、職員と一緒にいながら同じテーブルで食事と一緒に食べている。庭で育てている野菜や差し入れの野菜をどのように調理するか話し合い、献立に取り込んでいる。行事や誕生日には好みの希望を聞いて家族と一緒に食べるよう計画している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスなど、かかりつけの病院の栄養士にチェックして頂いている。また一人ひとりに応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後就寝前など、口腔ケアを行っている、また職員が一部介助を行い支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせ、なるべくトイレで排泄していただける様に支援している。また失敗しても自尊心を傷つけないような声かけの支援をしている	利用者の排泄パターンを把握し排泄チェック表でトイレでの排泄の支援をしている。以前オムツ使用者がリハビリパンツや布パンツになった事例がある。トイレでの排泄ができるように排泄の自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、健康体操を行い体を動かしたり、食物繊維が多い食事を提供し取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望にあわせながら、ゆったりと入浴できるように支援している。入浴日等は特に決めずに行っている	利用者の希望で1番風呂に入りたいたか、同性介助の対応などで入浴が楽しみになるように支援している。週3回の入浴日を基本に時間を決めないで実施している。ゆず湯や入浴剤を使用する等、入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して就寝できるように、声かけし、騒音や雑音が無いように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬の副作用など理解している。また忘れてしまった時でも、一人ひとりファイルがあるので、その都度確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の、得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとり役割を持って頂き支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に沿って戸外に行けるように支援している。また遠方へはご家族の協力を得ながら、入居者様の希望を尊重し出かけている</p>	<p>日常的には、近隣の散歩や近くのマーケットへ買い物に出かけている。家族の協力をもらいながら、お茶やおやつを持って花見やミカン狩りに出かけたり、園外活動なども支援している。定期的に外出や外泊をしている利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理が出来る入居者様には小額ではあるが管理していただいている、買い物の際にはそのお金を支払いに使って頂き支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも連絡が出来るように、電話の子機を広間に備えている、ご自分でボタンが押せない方は、職員がボタンを押し支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に居心地よく過ごして頂ける様に、明かりや、温度、湿度に気をつけている。また野菜畑から収穫し季節を感じて頂いている</p>	<p>共用空間は明るく、光や音の刺激がないように配慮されている。室温や湿度が調整され、たたみのスペースやソファがあり、思い思いに好きな場所で過ごせる環境となっている。ウッドデッキで日光浴やお茶などを飲み、くつろいでいる。リビングには利用者の手作りのカレンダーが、玄関には写真が飾っており、居心地よく過ごせる工夫がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>広間には、フローリングと畳を組み合わせた空間があり、皆様ゆったりと過ごして頂いている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、なるべく本人様が使用していたものを、入所される時点で持って来て頂き、居心地良く過ごして頂ける様に配慮している</p>	<p>夫や子供の写真・箆笥・テレビ・仏壇等、利用者が日常的に使っていたものを家族と話し合い持参し、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。それぞれの居室入口には手作りの表札がかけてある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりや、トイレ・浴室の案内表示など、なるべくご自分で行けるように工夫している。また声かけや付き添いながら自立できるように支援している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない